

2023 年度  
【修士課程】

早稲田大学大学院文学研究科  
専門科目

心理学コース

入学試験問題  
※解答は別紙（横書）

I. 以下の設問 1 から 15 に関して、それぞれ最も適当な選択肢を a) ~e) の中から 1 つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

1. 生体が環境要因や心理社会的要因に応じ、体内環境の変化を通じて安定状態を保とうとする性質を何と呼ぶか。

- a) クロノスタシス
- b) アロスタシス
- c) ホメオスタシス
- d) ヘモスタシス
- e) サーモスタシス

2. 交感神経と副交感神経の二重支配を受ける器官として適切でないものはどれか。

- a) 汗腺
- b) 瞳孔
- c) 胃
- d) 気管
- e) 心臓

3. 身体内部の生理状態に関する感覚を指す用語はどれか。

- a) 深部感覚
- b) 外受容感覚
- c) 体性感覚
- d) 内受容感覚
- e) 平衡感覚

4. 概念・理論とそれを提唱した研究者の名前の組み合わせとして、不適切なものはどれか。

- a) 間主観性 — Trevarthen, C.
- b) 生理的早産 — Harlow, H. F.
- c) 発生的認識論 — Piaget, J.
- d) 生態学的システム論 — Bronfenbrenner, U.
- e) ホスピタリズム — Spitz, R. A.

5. 実行機能の発達について、正しくないものはどれか。

- a) 幼児期に顕著な発達が見られ、児童期に入る前に成人と同等のレベルに達する。
- b) 優位な反応を抑制する能力の発達が含まれる。
- c) 子どもの実行機能を測定する課題として、DCCS 課題が代表的である。
- d) 心の理論の発達と関連することが報告されている。
- e) 神経基盤として、前頭前野の発達との関わりが指摘されている。

6. Marcia, J. E. の提唱したアイデンティティ・ステータス論において、「自分の目標と親の目標の間に不協和がなく、どんな体験も幼児期以来の信念を補強するだけになっている」というアイデンティティの状態を何と言うか。

- a) アイデンティティ拡散
- b) アイデンティティ達成

- c) 早期完了
- d) 基本的信頼
- e) モラトリアム

7. 社会心理学の実験や概念とその唱道者の組み合わせのうち、不適切なものはどれか。

- a) 免疫理論 — McGuire, W. J.
- b) スモールワールド実験 — Milgram, S.
- c) 対応バイアス — Gilbert, D. T.
- d) アージ理論 — 山岸俊男
- e) 聴衆抑制効果 — Latané, B.

8. Sherif, M. の社会規範形成実験の記述として間違っているものはどれか。

- a) 実験は、自動運動現象を利用している。
- b) 実験結果は、物理的実在性が得られないときは社会的実在性に依存した判断がなされたことを示唆している。
- c) 実験の知見は、光点の移動距離の判断結果を分析することによって得られる。
- d) 社会的影響過程の中で社会規範形成がなされることをこの実験結果は示唆している。
- e) 実験結果は、課題中にギブソン効果が生じることを示唆している。

9. 組織におけるリーダーシップの状況即応理論を提唱した人物は、次の人物中の誰か。

- a) Giddens, A.
- b) 三隅二不二
- c) Luhmann, N.
- d) 野中郁次郎
- e) Fiedler, F. E.

10. 以下の記述のうち、正しいのはどれか。

- a) YG 検査において、C 型に分類される人は、内向的でおとなしく、情緒が安定しているタイプである。
- b) SCT は、示された絵中の人物の性格・感情、過去・未来などの物語を受験者に自由に語らせて測定するものである。
- c) TAT は、欲求不満が生じる場面場面をイラストで提示し、攻撃性が向かう方向や型を評価するものである。
- d) WAIS は、成人に対して集団で実施可能な知能検査である。
- e) ロールシャッハテストで F 反応が多い人は、情緒が豊かであることを示す。

11. 以下の記述のうち、正しいのはどれか。

- a) 精神力動的療法は、人間性心理学的アプローチの代表格である。
- b) エンカウンター・グループでは、参加者のソーシャルスキルを上達させることに主眼がある。
- c) 家族療法は、同居家族全員が参加しないと行えない療法である。
- d) サイコドラマは、Freud, A. が開発した子ども向けの心理療法である。
- e) ゲシュタルト療法は、人間をホリスティックな存在として捉え、人格の統合を目指している。

12. 以下の動機づけ面接についての説明のうち、正しいのはどれか。

- a) Linehan, M. M. によって提唱された感情を上手に調整することで治療意欲を高める面接法である。
- b) 「変化に対する両価性が人の常である」という人間観をもっている。
- c) はい・いいえで答えられる質問を重ねることで治療の動機づけを高めていく。

- d) クライエントを否定する働きかけを繰り返していくことで現状への問題意識を喚起させていく。
- e) 変化しなければならない理由を治療者側が次々に提示していく手法をとる。

13. Marr, D. & Hildreth, E. (1980)によれば、網膜像をもとに、プライマル・スケッチが計算される際、輪郭線（エッジ点）が検出される。この輪郭線検出において中心的な役割を果たすと考えられている神経細胞の働きはどれか。

- a) 活動電位
- b) 脱分極
- c) 絶対不応期
- d) 跳躍伝導
- e) 側抑制

14. 新たに短期記憶に保持された情報は、すでに短期記憶内に保持されている情報を抑制するとされる。この現象の名称を選択せよ。

- a) 順向抑制
- b) 逆向抑制
- c) 抑制的プライミング効果
- d) 逆向プライミング効果
- e) 時間的減衰

15. Shepard, R. N. & Metzler, J. (1971)は、心的回転の実験を通して、私達は、現実の対象を操作するのと同じように、心的イメージを操作すると提案した。この説の名称を選択せよ。

- a) アナログ説
- b) 命題説
- c) 減衰説
- d) 干渉説
- e) 事例説

II. 次の a) から e) の中から、以下の説明や問いに最も適切な選択肢を 1 つ選びなさい。

1. 平均値・中央値・最頻値のように分布の位置を記述する要約統計量。

- a) 代表値
- b) 標準偏差
- c) 標準誤差
- d) 位置指数
- e) 分散

2. データを見る前の母数に関する主観的な信念の確率分布。

- a) 正規分布
- b) 事前分布
- c) 事後分布
- d) 条件付き分布
- e) 事後予測分布

3. ある確率に相当する事後分布の端を除いて残った中央部の区間。

- a) 両側信頼区間
- b) 両側予測区間
- c) 両側検定区間
- d) 両側確信区間
- e) 両側有意区間

4. 男性群と女性群を比較するとき、処理に相当する性別は。

- a) 介入
- b) 属性
- c) 対照
- d) 基準
- e) 暴露

5. 対応ある平均偏差データの積の平均値。

- a) 算術平均
- b) 調整平均
- c) 共分散
- d) 標準化データ
- e) 幾何平均

6. 要因の影響を受ける前の測定値の平均。

- a) セル
- b) 主効果
- c) 交互作用
- d) 調和平均
- e) 全平均

7. 比率の差の別名。

- a) リスク差

- b) リスク比
- c) オッズ
- d) オッズ比
- e) 比率の比

8. 1次変換による予測式を何というか。

- a) 回帰モデル
- b) 予測基準式
- c) 1次予測式
- d) 回帰直線
- e) 回帰曲線

9.  $i$  行  $j$  列の要素と  $j$  行  $i$  列の要素の内容が同じである行列。

- a) 矩形行列
- b) 下三角行列
- c) 対称行列
- d) 対角行列
- e) 単位行列

10. 直交表を使い、予測変数を互いに無相関にした回帰分析。

- a) ロジスティック回帰分析
- b) 決定木
- c) ポアソン回帰分析
- d) 共分散構造分析
- e) コンジョイント分析

11. 推定量の平均的な値が、母数に一致する性質はどれか。

- a) 有効性
- b) 一致性
- c) 不偏性
- d) 許容性
- e) 漸近性

12. 有意性検定における誤りの説明で正しいのはどれか。

- a)  $\alpha$  は第2種の誤りである。
- b) 通常  $\beta$  を 0.05 に固定することによって  $\alpha$  が後から決まる。
- c)  $\beta$  は有意水準と呼ばれることもある。
- d)  $\alpha$  と  $\beta$  は同時に小さくすることは難しい。
- e)  $\beta$  は検定力と呼ばれることもある。

13. 2要因の実験計画法のベイズ的アプローチに関して正しいのはどれか。

- a) クラメル の 連関係数 で 適合度 を 調べる。
- b) ピアソン 残差 で 適合度 を 調べる。
- c) バランスデータでないと分析できない
- d) アンバランスか否かで計算手順が変わる。
- e) アンバランスか否かで計算手順は変わらない。

1 4. 標準偏差の点推定値は、事前分布を一様分布とするとどうなるか。

- a) 標本標準偏差と、最尤推定値と、MAP 推定値の 3 つが一致する。
- b) 最尤推定値のほうが MAP 推定値より大きい。
- c) 最尤推定値のほうが MAP 推定値より小さい。
- d) データの性質によって異なり、大きさの順番は決まっていない。
- e) 不偏分散と、最尤推定値が一致する。

1 5. 因子分析において、ある観測変数が共通因子全体から説明される割合。

- a) 累積寄与率
- b) 共通性
- c) 因子負荷
- d) 独自性
- e) 有効率

Ⅲ. 以下の6つの問題から1つを選び、解答欄に文章で答えなさい。

1. 脳と行動の関係を調べるための研究方法である破壊法、刺激法、記録法について、それぞれの方法を具体的に説明しなさい。

2. 馴化・脱馴化法について、具体的な研究例を挙げながら説明しなさい。

3. 期待効用理論の反例について、公理的観点から論じなさい。

4. リラプス・プリベンションに向けた働きかけの内容及び留意すべきことを記せ。

5. Coltheart, M. (1978)の二重経路モデルは、語の音読に2つの処理経路を仮定する。このモデルは、音読課題で観察される語の形態-音韻対応の規則性効果をどのように説明するのか記述せよ。

6. 新商品開発のために利用される統計学的手法を3つ挙げ、その特徴を述べよ。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。

漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

## 心理学コース 解答用紙 No. 1

総 点

--

### I. 解答欄

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	

受験番号	
氏名	カタ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。

漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

## 心理学コース 解答用紙 No. 2

### II. 解答欄

1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
5 _____	6 _____	7 _____	8 _____
9 _____	10 _____	11 _____	12 _____
13 _____	14 _____	15 _____	

